



【参考資料 マレーシアの美容市場について ※ミルボン調べ】

[概況]

西マレーシア（主要都市：クアラルンプール、ペナン、ジョホールバル）市場規模 80%

東マレーシア（主要都市：サバコタキナバル、サラワ）市場規模 20%

欧米主流のマーケットであり、美容室のスタッフ教育やサロン運営システムも欧米流である。

[集客]

店内ポスター & ロゴ付ディスプレイをしてメーカーブランドを訴求しているが、隣国シンガポールと比べると、店舗面積が広いものの集客は必ずしも良いとは言えない状況である。

人口ピラミッドから見ると30代以下が圧倒的に多く、サロンでは若い顧客をターゲットにしているものの、実際の売上は大人世代のヘアカラー & トリートメントが中心となっている。

[スタッフ、顧客対応]

東南アジア他国とは異なる美容文化（ex.SPはセットイスイにて行う）が根つき、オーナーは中国系が多い。但し、スタッフは多様であり、使用言語が中国語系（マンダリン、広東、福建）マレー語、英語と多民族ならである。ミャンマー等東南アジアからのスタッフを雇用するケースもあり、日本人単独では最低でも英語が話せないとサロン経営が難しい。

また、イスラム系が65%を占めており、こうした顧客には、女性スタッフのみの施術や個室での対応が必要となる。

[店舗]

マレーシア国内に300箇所以上の大型ショッピングモールが点在しており、大手サロンは必ず入居している。クアラルンプールでは路面店はほとんどなく郊外エリアのみである。ペナン、ジョホールバルでは、路面店の方が多い。

東南アジア他国と比較すると店内外装は、日本のサロンと変わらず高級感があり広い。

車社会の為、大型SPモール入居がベストだが、SPモールの選択で顧客層も大きく変わる。

[その他]

課題は、スタッフの確保や教育という声が多い。

カット料金平均 50RM(日系サロン 100RM~168RM)

カラー料金平均 100~250RM

パーマ、ストレート料金平均 200~300RM

マレーシアエリアのミルボン売上推移(千円)

2013年	2014年	2015年	2016年計画
16,264	74,845	93,072	110,000